

天理教の文化的・社会的活動のニューヨーク社会における意義

前回は、天理教ニューヨークセンターが、ニューヨークの社会や人々により広く積極的に関わることを目指して設立したニューヨーク天理文化協会（以下 TCI）の主な活動を紹介した。今回は、同センターや TCI が展開している文化的・社会的活動が、地域社会や人々にどのように受け止められ、どのような意義を持っているのかをみていく。

TCI とニューヨーク社会

TCI 活動のニューヨーク社会における意義としては、まず日本文化紹介への貢献が挙げられるだろう。日本語教室では、日本語の教授だけではなく、定期的に文化的な行事を実施し、コンサートやギャラリーでの活動を通じて、日本の音楽、伝統芸能、美術を紹介している。ある日本語学校の学生は、「“テンリ”の良さは、その教授法だけではなく、あらゆる機会を捕らえて、文化交流を推し進めていこうとする点です。そのユニークな運営姿勢に共感を覚えます。」（『一れつ』No.543、1992年3月、15頁）と述べている。また日本の文化のみならずさまざまな国々の文化や芸術を紹介する場、異なる文化を融合し新たな芸術を生み出す場ともなっている。たとえば、2012年には日本、アメリカ、イラン、オーストリアの作曲家によって、日本とヨーロッパの楽器を組み合わせた新しい音楽が紹介された。

さらに、地域社会の教育機関や団体との提携により、若い芸術家の活動の場、ボランティアやインターンシップの機会、地元学生への異文化教育などを提供している。「もう10年が経ちますが、未だに天理との間には強い絆があります。私はこの文化協会という場所が、アーティスト業界を支える一つであると信じています。なぜなら、ここは何百人という若者が第一歩を踏み出すきっかけだけでなく、その彼らの芸術の存続も守っているからです。」（TCI を利用しているコンサート・プロモーターのコメント『せいじん』No.322、2006年11月、12頁）。このように、TCI は、日本語や日本文化の紹介を行うとともに、さまざまな文化活動を通じて、異なる文化的背景を持った人々の交流や相互理解を促し、地域社会へ社会的・文化的貢献をしている。

TCI とニューヨーク在住の日本人・日系人

つぎに、TCI の活動が、ニューヨーク在住の日本人や日系アメリカ人へどのような影響を与えているのかを考えてみたい。まず TCI は、彼らが日本文化を継承し、新たな文化を創造する上に貢献しているといえる。日本語学校では子供クラスが開講され、国語として、また出身国の言葉として日本語が教えられている。こうした日本語や教育や日本文化紹介の諸行事によって、日本人や日系アメリカ人子弟が日本文化に触れ、継承していく機会となり、同時にそれに関わる大人たちも日本文化の良さを再発見したり、新たな展開や創造をうみだしたりしている。「文化協会での日本文化紹介は日本人でも驚かされるものがあります。つまり日本でも文化というものが希薄化されつつあるからです。私も文化協会ですべて忘れていた日本文化を改めて思い出す事があります。ですから、アメリカで日本語だけでなく文化を知ってもらい催し事は素晴らしい行事だと思います。」（日本

人ボランティアのコメント『せいじん』No.251、2001年8月、16頁）

日本語教室、日本文化ワークショップ、日系団体による行事などを通じて、ニューヨーク在住の日本人や日系アメリカ人のネットワーク構築へ寄与しているという側面もみうけられる。TCI では、書初め、ひな祭り、七夕、夏祭りなど、日本の伝統的な年中行事が随時開催され、日本語学校の学生だけでなく、子供クラスの保護者なども参加しており、和やかに交流する場となっている。2018年3月には、日系人協会と共催で「コミュニティ・カフェ」が TCI で開催された。これは茶話会を通じて、高齢の日系人の人々、また異なる世代の日系人たちが交流することを目指したもので、多様化する日系人居住者が気軽に立ち寄りふれあう場となった。

国を越えた交流

TCI と天理大学との学術交流提携により、日本での文化研修や TCI でのインターンシップなどの交流が定期的に行われている。また TCI では、日本の物産展やワークショップが随時開催されており、アメリカと日本の2国間での交流、さらにはニューヨーク在住者の多様性を反映してその他の国や地域との異文化交流をも促進する場ともなっている。2016年に天理大学で開催された夏期日本語講座へ参加した学生は、「コースに参加することは、日本文化を学ぶだけにとどまりませんでした。天理で勉強するために世界中から学生が集まってきていたので、フランス、スペイン、韓国、ウクライナなどの他の国の文化も学ぶことが出来ました。」（『せいじん』No.440、2016年9月、13頁）と述べている。このように、TCI の文化的・社会的活動が、国を越えたさまざまな人々の文化的交流や相互理解を促進している。

ニューヨークセンターと地域社会

ニューヨークセンターにおいても、祭りやガレージセールを開催するなど、地域社会に根づき、貢献する活動が展開されている。あらたに神殿をふしんした同センターの建物は、ニューヨークの優れたデザインの建物を選出する「オープンハウス・ニューヨーク」に度々選ばれており、2010年には *New York Post* と地方紙 *Flushing Times* にも掲載され、地域住民の関心を引いている。そうした中、年末に行われる「もちつき」や青年会主催の「夏祭り」には、天理教関係者、文化協会関係者だけでなく、地域の人々が立ち寄る格好の機会を提供している。

また鼓笛隊が地域のイベントへ出演したり、出張所スタッフが他団体主催の行事へ参加したりするなどしている。たとえば、毎年8月にマンハッタンで開催される広島・長崎の原爆犠牲者を追悼する「Interfaith Peace Gathering（宗教を超えた平和集会）」では、センターの所長が平和祈念の詞を奏上し、天理雅楽会が雅楽を演奏している。また、日系アメリカ人と在米日本人の交流促進を目的とした団体 *Japanese Americans and Japanese in America* が、2014年11月に10周年を記念し日本国在ニューヨーク総領事公邸で開催したパーティーに、当時の所長であった弓削マイケル氏が参加しており、地域社会との繋がりを構築している様子が見えがわられる。